



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社グランマ —新しいBOP ビジネスの形とは—

5

新興国・途上国の低所得階層を対象とした BOP (Base of Pyramid) ビジネス (BOP ビジネスの詳細については、後部の「BOP に関するノート」を参照) が注目されている。新興国・途上国の経済成長に伴って、従来、国際社会で援助対象として扱われていた BOP 層が、新たなボリュームゾーンとして、世界経済の「次の市場」になると考えられている^[1]。年間所得 3,000 ドル以下の BOP 層は約 45 億人で世界人口の 7 割を超え、5 兆ドルの市場規模に達する^[2]と言われている。

10

15

株式会社グランマの概要

株式会社グランマ

20

株式会社グランマ (Granma Inc., 以下グランマ) は、2009 年に設立された BOP 市場への進出をサポートすることを事業とする資本金 4 百万円の会社である。創業者 3 名は皆バックパッカー経験者という経歴をもっている。

25

^[1] 富士通総研 (2012), p. 1.

^[2] BOP ビジネス支援センターホームページより。http://www.bop.go.jp/bop

このケースは、公開情報から、慶應義塾大学大学院商学研究科前期博士課程金子晋也が作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は http://www.kbs.keio.ac.jp/。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 金子晋也 (2013 年 2 月作成)